令和３年度　第４回　運営会議ニュース

日　　時	令和3年７月11日（日）13：30～15：30
場　　所	県立座間谷戸山公園　パークセンター（レクチャールーム）
出　席　者	１３名

～議題～

各ゾーンエリアの管理について（各団体等からの報告事項）

●グリーンタフ・谷戸山公園グループ

蔓延防止措置により、自然観察会が開催できないことから、会での研修会を園内で行った。前回樹名板の設置を依頼したニッケイとケンポナシを確認した。ホタルブクロが咲き始め、ヤマホタルブクロを湿生生態園等で観察した。また、白のホタルブクロが伝説の丘で見られる。

●ホタルを守る会

今年のホタルは5/１７に初観察。ピークは６月 10 日の７５頭。田んぼ周りの水路と、わきみずの谷で多く見られた。中でもわきみずの谷で今年の 2 月に浚渫した池で多く見られたが、心配していた浚渫の影響がなく良かった。2016 年のピーク時は１００頭程度見られたが、若干減ってきている。カワニナが育つ場所でないと、ホタルも育たないため、防災井戸周辺の斜面の木で覆われている水路が覆われているので、斜面の木を剪定し、日光が当たるようにした方が良いのではないかと思われる。

●ふるさとフォーラム

１５日に菖蒲田の除草、ショウブの株分けを予定している。コスモスの種は梅雨が明けてから、草取りをして、耕運してから種まき予定。

●専門員

９月２２日に「水のいきものみっけ」を予定している。本日園内を回ったが、ザリガニ池で子供がザリガニ釣りをして喜んで生き生きと釣っていた。

●谷戸山ボランティア

梅雨時期の植物をまとめ、園内ではヤブレガサ、アキノタムラソウ、クサレダマなどが咲いている。ベニシジミやアオスジアゲハ、オオシオカラトンボもなどが見られる。キビタキがよく鳴いている。セミが鳴き始めた。田んぼ周りには園芸種ヒメヒオウギズイセンがあるが、田んぼ周りから拡大しないように気を付けたい。また、多目的広場の外周道路では侵略的外来種オオキンケイギクがはびこってきているので、園内に侵入させないようにして欲しい。

特定外来生物（アメリカザリガニ）について

現在、湿生生態園の池でザリガニ釣りを楽しむことができるが、環境省がアメリカザリガニによる生態系への影響が深刻な事例が増えてきたことから、早ければ 2023 年に特定外来生物に指定し、野外で繁殖しないよう規制する検討を始めたことにより、今後のザリガニ釣りについて公園では事前にルールを定めるなど検討を行う必要がある。

●東部センター

今後の工事発注予定は、パークセンター前の土系補装園路を自然石のアスファルト舗装に打ち替える工事と、東口七曲り上部にある四阿を撤去し、新たに東口広場に設置する工事を予定している。

●公園

県内一部でコロナに関わる蔓延防止等措置は延長（８月 22 日まで）となり、座間市は対象区域から外れたが、県下全ての県立公園では公園主催のイベントは中止となる。従って、谷戸山いきもの展、昆虫ウォッチング、里山保全隊は中止した。

次回開催日時	９月１２日（日）13：30～１５：00

※運営会議後の進捗状況や最新情報も必要に応じて記載しています。

※運営会議への提案や傍聴を希望される方は、公園管理事務所までお申し出下さい。